

イキイキと、誰もが輝く、袖ヶ浦へ

佐藤ひろふみ

議会報告(春号)

～市民のために、汗をかき、明日をえがく～



日頃より「佐藤ひろふみ」への温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

令和8年3月袖ヶ浦市議会定例会では、袖ヶ浦市情報公開条例の一部改定(手数料・濫用(らんよう)を防ぐ規定などの新設)が可決されるとともに、令和8年度一般会計予算が成立しました。当所予算総額は312億8千万円で、前年度比10億9千万円、3.6%の増額となります。令和8年度は、防災力強化として統合消防庁舎の建設推進、未来型交通として自動運転バスの導入、教育環境の充実として中学校体育館への空調設備整備など、将来を見据えた施策が進められます。本報告では、定例会の主な内容についてご報告させていただきます。

「佐藤ひろふみ」は「生活者」「働く者」の視点を大切に、市民の声をしっかりと市政に届けてまいります。引き続き、変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

会期: 令和8年2月17日(火)～3月25日(水) 37日間

3月議会の議案について 主な内容

今議会では、袖ヶ浦市庁舎整備基金条例を廃止する条例の制定を含む条例の制定4件、袖ヶ浦市情報公開条例の一部改正を含む条例の改正9件、市道路線の変更2件、契約の変更1件、補正予算7件、令和8年度当初予算5件、専決処分1件、発議案1件、合計30議案が提案されました。

1 3月定例会 主な議案

第6号: 袖ヶ浦市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について
(市民の知る権利の確保と制度の適正運用)

市が保有する公文書を請求・閲覧できる「情報公開制度」を見直す。

- これまで無料だった公開請求に手数料を新設。(1件あたり200円)
公文書の写し・データ提供などには別途公開実施手数料。(用紙、コピー代など)
- 経済的に困難な人には一定額まで免除制度あり
- 公開請求の「濫用」(らんよう)を防ぐ規定も新設

濫用: 権利や権限を限度や目的を逸脱して、社会的な良識や本来の目的に反して不当に使う場合などを指します。

第10号: 袖ヶ浦市火災予防条例の改正(簡易サウナ・地震による電気火災予防対策)

近年増加しているテント型・バレル型などの簡易サウナ設備について、火災予防の観点から、一般のサウナ設備と同様に届出を義務化しました。また、地震時に発生しやすい電気火災を防止するため、感震ブレーカーの普及促進を条例に明記し、安全対策の強化を図っています。

第16号: 令和7年度袖ヶ浦市一般会計補正予算(第8号)

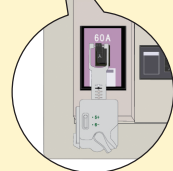
補正額は2億6,940万9千円を増額し、予算総額を327億7,608万円としました。橋梁や道路の長寿命化修繕、地域公共交通づくり事業の推進、将来の学校施設整備に備えた教育施設整備基金への積立など、市民生活に直結するインフラ・教育分野を中心とした補正内容となりました。国の補正予算の活用や事業の進捗状況を踏まえた調整を実施。

- 橋梁長寿命化修繕事業 : 約1億9,100万円増
- 道路舗装修繕事業 : 約4,200万円増
- 地域公共交通づくり事業 : 約2,400万円増
- 教育施設整備基金積立金 : 2億円 ※将来の学校施設整備に備えた積立

また、定額減税補正給付金事業は、実績を踏まえ約1億4,900万円を減額しました。市民生活に身近なインフラ整備や教育分野を中心に、将来を見据えた財政運営を進める補正予算となります。



感震ブレーカー

チョイソコがうら車両
(袖ヶ浦市HPより)

3月定例会に提出された29議案については、賛成多数および賛成全員で可決されました。

また発議案1件「袖ヶ浦市議会委員会条例の一部改正について」は賛成全員で可決となりました。

※詳細につきましては、右側QRコードより議会HPにてご確認ください。

議案等処理結果一覧(令和8年第2回2月招集定例会)



袖ヶ浦市令和8年度当初予算312億8000万円が可決

当初予算額:312億8000万円 令和7年度比+10億9000万円(+3.6%)

令和8年度は、袖ヶ浦市後期基本計画の初年度であり、令和8年度から13年度までを対象として、市の将来像「みんなでつくる人つどい 緑かがやく 安心のまち 袖ヶ浦」の実現を目指し、人口減少や社会変化を踏まえ施策分野を8分野に再編し、「組織を超える」「分野を超える」「世代を超える」「想像を超える」の4つの行動を重視し、多様な主体と連携した持続可能なまちづくりを進めていきます。



令和8年度袖ヶ浦市で行われる新規事業の紹介

3月18日、19日、23日の3日間にわたり予算審査特別委員会で各予算の審査を実施しました。令和8年度の主な事業として、防災力強化として統合消防庁舎の建設推進、未来型交通の推進として自動運転バスの導入、教育環境の充実と地域連携の推進として中学校部活動地域展開の推進や中学校体育館空調設置に向けた設計、奈良輪小学校での放課後子ども教室の新設などが予定されています。予算審査特別委員会にて各施策の詳細と予算の妥当性について執行部と質疑を交わしました。

防災力の強化:統合消防庁舎の建設推進(1,155万円)

市内消防施設の老朽化に対応するため、消防本部・中央消防署・長浦消防署を統合し、新たな消防庁舎の整備を進めます。これにより、現行の3消防署体制を2消防署体制へ再編し、効率的で強靱な消防体制を構築します。

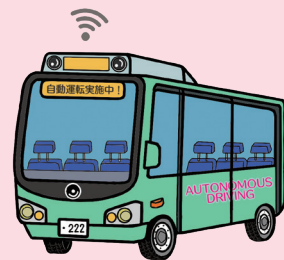
新庁舎は老朽施設の更新に加え、防災拠点としての機能を強化し、災害時の迅速かつ的確な対応を可能とする体制を整えます。



未来型交通の推進:自動運転社会実装推進事業(1億6,649万5千円)

公共交通における深刻な運転手不足に対応するため、バス路線において自動運転技術を導入し、持続可能な公共交通ネットワークの構築と地域の魅力向上による「安心して暮らせるまち」の実現をります。

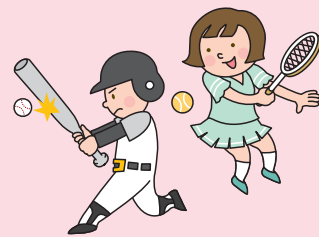
既存のバス路線において、特定の条件下でシステムがすべての運転操作を担い、運転手が不要となる「自動運転レベル4」の運行実現を目指します。そのため、車両の準備、システム構築、実証運行などについて、交通事業者をはじめとする関係機関と連携しながら取組みを進めていきます。



教育環境の充実と地域連携の推進

子どもたちの学びと成長を支えるため、中学校部活動の地域展開や学校施設の整備を進めています。地域クラブや指導者の拡充により持続可能な活動体制を整えるとともに、体育館空調設備の設計を進め、快適な教育環境を整備します。また、奈良輪小学校では放課後子ども教室を新設し、放課後の居場所と学習機会を充実させていきます。

- ・中学校部活動地域展開推進事業(450万5千円)
- ・中学校体育館空調設備設置[昭和中・蔵波中・中川中]に向けた設計(1,543万3千円)
- ・放課後子供教室推進事業[奈良輪小学校に放課後子ども教室を新設](222万7千円)



子育て・福祉の充実

子どもから高齢者まで安心して暮らせる環境づくりを進めるため、子育て支援や福祉施策の充実を図ります。

- ・乳幼児健康審査事業(145万4千円)

健康診査の充実として新たに5歳児健康診査を実施し、発達の特性や不登校の予兆を早期に把握し、適切な支援につなげる体制を整えていきます。

- ・「高齢」「障害」「子育て」「生活困窮」などの分野を分けず、複合的な課題を抱える人を一体的に支援する重層的支援体制を進めています。1人の相談に対し複数の部署が連携して対応することで、たらい回しを防ぎ、必要な支援につながる仕組みを整え、市民が安心して相談できる環境を強化します。これらの取組を通じ、市民生活を支える福祉の基盤を強化していきます。



佐藤ひろふみ後援会 事務所

〒299-0263 袖ヶ浦市奈良輪2-9-15

TEL・FAX 0438-55-9233

 s.hirofumi.kouennkai@gmail.com



Facebook

発行/佐藤ひろふみ後援会

発行責任者 寺田陽一

編集責任者 青山正樹

2026年4月発行